

難病ゲノム医療に対応した 遺伝カウンセリングの実態調査と 教育システムの構築に資する研究 研究成果報告会

開催日時：2022年3月21日（月・祝）15:00～17:00
ZoomによるWeb講演会（事前登録制）

プログラム

講演1（15:05～15:25）

難病医療における遺伝カウンセリングの現状と改善に向けた提言
お茶の水女子大学 三宅秀彦

講演2（15:25～15:45）

英国における遺伝カウンセラー教育
東京慈恵会医科大学 川目裕
東京都立多摩総合医療センター 松川愛未

講演3（15:45～16:20）

ゲノムカウンセリング教育に関する調査結果と教育動画のご紹介
お茶の水女子大学 佐々木元子

講演4（16:25～16:50）

難病ゲノム医療の社会実装と遺伝カウンセリング
京都大学 小杉眞司

参加無料
Web開催
定員200名

難病の半数以上が遺伝性疾患であることが知られています。遺伝性疾患の診療においては心理社会的課題が生じる可能性があり、その支援のひとつとして遺伝カウンセリングがあります。本研究班では、難病医療における遺伝カウンセリングについて提供体制の実態調査と教育に関する調査・検討を行いました。この報告会では、これらの研究成果について報告いたします。

お問い合わせ先：

難病ゲノム医療に対応した遺伝カウンセリングの実態調査と教育システムの構築に資する研究班
（研究代表者：お茶の水女子大学 三宅秀彦）

E-mail: ocha-gcc@cc.ocha.ac.jp

研究班のページ：<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/gcccourse/coursemeu/researchgroup.html>

参加申込について

参加ご希望の方は、以下のサイトまたは右のQRコードから参加登録をお願いいたします。

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZItcumhpz4rGtaf5OzU5K2T_B-vQSAPr11K
（研究班ページからもアクセスできます。参加登録には Zoom へのサインアップが必要です）

ご登録いただいた方に講演会のZoomアドレスをお送りします。

2022年3月21日（月）12時まで参加申込を受け付けております。

